



※1: がん細胞の含有率の基準は1%以上です。がん細胞が確認された気管支鏡細胞診検体の多くは、がん細胞の含有率が1%以上であったと報告されています。病理検査でがん細胞が確認された検体は、基準を満たしていると考えられます。(Tanaka T et al. Frequency of and variables associated with the EGFR mutation and its subtypes. *Int J Cancer* 2010; 126:651-5.)

※2: RNA later™ Stabilization Solution(サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社)

監修: 萩原 弘一 先生 (自治医科大学)